

□主な内容

【地方自治体の交通環境対策が増えています！】

仙台市のモビリティ・マネジメント、石川県と金沢市のパーク&ライド、川崎市のアイドリングストップ・キャンペーン、広島市の自転車環境改善に向けた取組みなどが始まりました。

【鉄道の日と鉄軌道に関するイベントの開催】

10月14日は鉄道の日です。鉄道の日にあわせて、前後に鉄軌道に関するイベントが全国で多数開催されます。

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第26回)

●「『2008 なのはモビリティウィーク&カーフリーデー』について」

【カーフリーデー・ジャパン 谷田貝 哲】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第26回)

●「神戸市におけるESTモデル事業について」

【神戸市交通局営業推進課 田中 孝司】

3. ニュース／トピック

●水素・燃料電池自動車の世界統一基準策定の作業部会を日本で開催【国土交通省】

●平成20年度グリーン物流パートナーシップ推進事業が決定【国土交通省】

●「あなたが創る・四国まるごと交通エコライフ2008」開催【四国運輸局】

●「せんだいスマート」を実施します【仙台市】

●仙台市の転入者モビリティ・マネジメントの取組について【仙台市】

●「交通実験2008」の実施について【石川県、金沢市】

●アイドリングストップ・キャンペーンの実施【川崎市】

●広島市都心部の自転車走行環境に関するアンケートを行います【広島市】

●パーク&ライドキャンペーンを実施【京急電鉄】

●『エコ週間』を実施します【京成バス】

●英国でプラグインハイブリッド車実証試験を開始【トヨタ自動車】

●エコ運転支援システムのITS実証実験を開始【日産自動車】

●アイスランド政府との電気自動車の共同実証試験について【三菱自動車】

●直噴エンジンの技術を活用した独自の「スマート アイドル ストップ システム」を開発【マツダ自動車】

4. イベント情報

●九州EST創発セミナー ～地球温暖化、まちづくり、環境的に持続可能な交通～

【2008/9/30】

●東北EST創発セミナー ～環境にやさしく、地域経済・社会を支える交通とは～

【2008/11/4】

●環境の視点から札幌の交通を考える市民セミナー【2008/9/28】

●第 15 回鉄道フェスティバル【2008/10/11,12】

●第 9 回全国路面電車サミット 2008 福井大会「ひと・まち・環境をつなぐLRT」

【2008/10/17-19】

●鉄道活性化講演会【2008/10/22】

5. その他

●EST 推進地域登録制度への申請を受付中！

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 26 回)

●「『2008 なはモビリティウィーク&カーフリーデー』について」

【カーフリーデー・ジャパン 谷田貝 哲】

9 月 16 日～22 日にかけて、沖縄県那覇市で「2008 なはモビリティウィーク&カーフリーデー」が開催されました。

「モビリティウィーク&カーフリーデー」とは、都市が抱える様々な問題に、主に交通の面から対処するとともに、まちに人の賑わいを取り戻すべく、クルマの使い方を見直していこうとするもので、毎年 9 月 16 日～22 日に実施されます。日本では今年も 7 都市が、世界ではヨーロッパを中心に例年 2,000 都市以上が取り組んでいます。

那覇市では期間中、市民にクルマに頼り過ぎないライフスタイルへの転換を呼びかけたほか、週末には低床バスや電気自動車の展示、おもしろ自転車の試乗会、バスの使い方アドバイス、なは街なかウォークなどの多彩な催しが実施され、同時に実施されている「国際通りトランジットモール」もあいまって多くの参加者で賑わいました。

現在の沖縄県は、過度のクルマ依存社会です。

広くない県土に 100 万台近くのクルマがひしめき、3 台 4 台のクルマを持つ世帯も少なくありません。一人当たりの自転車保有台数も全国最下位であり、観光客向けのレンタカーは 2 万台を越えました。一方で路線バスの利用者は減り続け、ついに主要バス会社 4 社中 3 社までが会社更生法の適用を受けてしまいました。

この現状は到底看過できるものではありません。沖縄における持続可能な社会の実現のためには、バスや自転車が便利になることはもとより、「脱クルマ社会化」への意識の転換が

必要不可欠です。「モビリティウィーク&カーフリーデー」の取り組みが、その一助となることを願ってやみません。

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 26 回)

●「神戸市におけるESTモデル事業について」

【神戸市交通局営業推進課 田中 孝司】

神戸市では、2007年5月発行のESTメールマガジン第10号で紹介された神戸都心地域の取組みと、今回紹介する神戸市郊外部での取組みの2件が、ESTモデル事業に位置付けられています。

郊外部では、主にモビリティ・マネジメント(以下、MM)を中心とした取組みにより、マイカーから公共交通への利用転換を図ることを目的としています。

事業1年目の2007年度は、地下鉄沿線にある大規模工業団地(西神工業団地、和田岬地区)を対象とした職場MMに取組み、トラベル・フィードバック・プログラムを実施した結果、二酸化炭素排出削減量が45トン/年と試算されました。また、同時にMM省エネルギービジョンを策定し、次年度以降の取組むべき具体策を定めました。

2008年度は、上記のビジョンをもとに、①隣接工業団地でのMM、②住民を対象としたMM、③交通ICカードを活用した利用促進、④地域交通懇談会の設置、⑤バスに関する情報提供の強化などを進めています。また、並行して普及啓発事業では、⑥企業のモビリティ・マネジャーの育成、⑦市バス福祉体験授業の教材作成、⑧エコファミリー制度5周年事業などを通して、企業でのエコ通勤の推進や次世代の公共交通利用者の育成を目指します。これらの取組みと都心地域でのEST事業が連携することにより、「神戸」が環境的に持続可能な交通体系を保持する「まち」になればと期待しています。

3. ニュース／トピック

●水素・燃料電池自動車の世界統一基準策定の作業部会を日本で開催【国土交通省】

我が国は平成17年3月、世界に先駆けて圧縮水素を燃料とする燃料電池自動車の安全基準を策定しました。さらに、日本の技術基準を基本として、国連の車両等の世界技術規則協定(1998年協定)に基づく世界統一基準を策定するため、国連の自動車基準調和世界フォーラム(WP29)傘下に作業部会を設け、平成19年9月から活動を開始し、平成22年の世界統一基準制定を目指しているところです。今般、この作業部会の第4回会合を東京で開催し、基準案の審議を行うことになりました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha07_hh_000007.html

●平成20年度グリーン物流パートナーシップ推進事業が決定【国土交通省】

グリーン物流パートナーシップ会議は、平成20年度に荷主と物流事業者が協働して取り

組むグリーン物流推進事業について、先に実施した1次募集分(「ソフト支援事業」11件、「普及事業」35件)に加え、新たに「ソフト支援事業」2件、及び「普及事業」9件について推進決定をしました。今後、各事業の推進主体は、「ソフト支援事業」については(財)省エネルギーセンターとの委託契約、及び「普及事業」についてはNEDOへの補助金交付のための手続きを行った後、事業着手することとなります。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000010.html

●「あなたが創る・四国まるごと交通エコライフ 2008」開催【四国運輸局】

四国運輸局、四国4県の知事と関係団体のトップ等で構成する四国公共交通利用促進協議会では、バスや電車に親しみ、公共交通機関の利用を促進するため9月20日(土)から1ヶ月間、4県統一キャンペーンを実施します。配布会や各県庁などで無料配布する“エコバンド”を付けると、バス・電車の運賃半額割引や協力店で特典サービスが受けられます。また、バスの体験乗車など、交通エコライフをテーマにしたイベントを四国内4都市(徳島市、高松市、松山市、高知市)で開催します。

<http://www.skt.mlit.go.jp/eco/eco2008.html>

●「せんだいスマート」を実施します【仙台市】

仙台市では地下鉄やバスなど公共交通の利用をより一層促進させるため、モビリティ・マネジメントを中心に様々な取組みを実施しています。その中で、一般の市民の皆さんに自発的に公共交通を利用していただく働きかけとして「せんだいスマート(仙台版モビリティ・マネジメント)」を2008年9月より実施しました。また、せんだいスマートを広く多くの方に知っていただくためにロゴマークを作成しました。

<http://www.city.sendai.jp/toshi/koutsukikaku/smart/index.html>

●仙台市の転入者モビリティ・マネジメントの取組について【仙台市】

仙台市では、仙台市へ転入される方々に、「とりあえずクルマ」から「まずバス」へ転換していただくために、積極的に、公共交通に関する情報をお知らせしています。具体的には、公共交通に関する情報(せんだいスマートグッズ)を、各区役所戸籍住民課、宮城総合支所戸籍住民課、秋保総合支所税務住民課、各行政サービスセンターにて、転入届を提出した方に職員が直接手渡ししています。

<http://www.city.sendai.jp/toshi/koutsukikaku/riyou/tennyu20.html>

●「交通実験2008」の実施について【石川県、金沢市】

石川県および金沢市は、平成20年度「交通実験2008」として「歩行回遊性向上実験」、「パーク・アンド・レールライド実験」、「北陸鉄道石川線における鉄道・バスの乗り継ぎ利便性向上実験」の3つの実験を、9月16日(火)から12月23日(金)の期間内で実施します。

<http://www.pref.ishikawa.jp/kisya/h20/toshi/0911.pdf>

●**アイドリングストップ・キャンペーンの実施【川崎市】**

川崎市は、地域の大気環境改善・温暖化対策を目的に、平成20年10月～12月にアイドリングストップ・キャンペーンを実施します。キャンペーンでは、池上・水江町地区を定期的に走行する大型トラックやバスドライバーの皆様、臨港警察署前交差点において信号待ちアイドリングストップやエコドライブを徹底していただくとともに、その環境改善効果を検証する社会実験を行います。

<http://www.city.kawasaki.jp/30/30zidou/home/ecodrivecampaign/campaign.html>

●**広島市都心部の自転車走行環境に関するアンケートを行います【広島市】**

広島市では「自転車都市ひろしまの推進」を掲げ、自転車の安全・快適な走行環境の向上、自転車の適正な利用促進といった、自転車を利用しやすくするための環境整備を推進しています。より計画的、効果的に走行環境整備を行うために、アンケート調査を実施します。

<http://www.city.hiroshima.jp/www/contents/0000000000000/1221729671272/index.html>

●**パーク&ライドキャンペーンを実施【京急電鉄】**

京急電鉄では、9月1日から、京急線の高架下や駅から至近距離にある駐車場計2,500区画について、京急線の定期券を持っている方には月額料金を優待する「パーク&ライドキャンペーン」を実施します。これは、燃料費の高騰により車での通勤に負担がかかる時勢を鑑み、京急線の駅至近にある駐車場の月額料金を割引することにより「駅まで車、駅から電車」という環境にも優しい通勤スタイルをPRするものです。

http://www.keikyu.co.jp/corporate/press/mk_auto/20080825.shtml

●**『エコ週間』を実施します【京成バス】**

京成バス株式会社では、9月20日「バスの日」を記念して、平成20年9月20日(土)～26日(金)を『エコ週間』とし、普段は土休日のみ実施している「エコサービス」を、この期間に限り平日にも適用します。「エコサービス」とは、適用日に限り、京成バスの指定する通勤定期を持っている方は定期券の区間外を現金100円(小児は50円)で利用でき、さらに、その同伴のご家族(同居家族の方に限ります)は定期券の区間内・区間外を問わず、現金100円(小児50円)で利用できるサービスです。

<http://www.keiseibus.co.jp/manager/detail/Info00000302.html>

●**英国でプラグインハイブリッド車実証試験を開始【トヨタ自動車】**

トヨタ自動車は、仏電力会社 EDF の英国子会社である EDF Energy と共同で、英国でのプラグインハイブリッド車の公道実証試験を9月10日(水)より開始しました。トヨタは、2007年より日米仏、及びベルギーにてプラグインハイブリッド車の公道実証試験を開始しており、今回の英国での実証試験は、世界で5カ国目となります。トヨタはニッケル水素電池搭載のプラグインハイブリッド車による実証試験を行っていくとともに、リチウムイオン電池を搭載したプラグインハイブリッド車の開発を加速しており、従来の計画を早め、2009年末までに日米欧でフリートユーザー向けの販売を開始する予定です。

http://www.toyota.co.jp/jp/news/08/Sep/nt08_0903.html

●**エコ運転支援システムの ITS 実証実験を開始【日産自動車】**

日産自動車は、ITS を活用し、エコ運転支援を目指す「エコ運転支援サービス」の実証実験を9月24日より開始すると発表しました。同社は、2006年10月より神奈川県において、交通環境の情報を利用した交通事故低減と、渋滞緩和を推進する SKY(スカイ)プロジェクトの実証実験を行っています。今回の「エコ運転支援サービス」は、この SKY(スカイ)プロジェクトの一環として、実験に参加するドライバーのエコ運転診断を行うものです。

http://www.nissan-global.com/JP/NEWS/2008/_STORY/080922-01-j.html

●**アイスランド政府との電気自動車の共同実証試験について【三菱自動車】**

三菱自動車は、化石燃料に依存しないエネルギー政策を推進しているアイスランド政府と、新世代電気自動車 i MiEV(アイミーブ)の実証走行試験を2009年度中に共同で実施すべく検討を進めることに合意し、19日同国産業エネルギー観光相と覚書(MOU)を交換します。新世代電気自動車 i MiEVは、日本において、すでに電力会社7社と実証走行試験を実施しており、2009年の日本市場投入に向け、開発を進めています。

<http://www.mitsubishi-motors.co.jp/publish/mmc/pressrelease/news/detail1834.html>

●**直噴エンジンの技術を活用した独自の「スマート アイドル ストップ システム」を開発【マツダ自動車】**

マツダ自動車は、渋滞や、信号待ちなど一時停止する機会が多い市街地走行において、ガソリン車の燃費を約10%(国内10・15モード)向上させるとともに、直噴エンジン技術の活用によりすばやい再始動を実現した、独自のアイドルリングストップシステム「スマート アイドル ストップ システム」を開発しました。環境性能に関する基幹技術として2009年の市場導入を予定しています。

<http://www.mazda.co.jp/corporate/publicity/release/2008/200809/080909a.html>

4. イベント情報

●九州EST創発セミナー ～地球温暖化、まちづくり、環境的に持続可能な交通～

日時:2008年9月30日(火) 13:30～16:30

場所:北九州国際会議場2階「国際会議室」

主催:交通エコロジー・モビリティ財団、EST普及推進委員会、九州運輸局

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu6.html>

●東北EST創発セミナー ～環境にやさしく、地域経済・社会を支える交通とは～

日時:2008年11月4日(火) 13:30～16:30

場所:仙台サンプラザ1階「パール」

主催:交通エコロジー・モビリティ財団、EST普及推進委員会、東北運輸局

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu7.html>

●環境の視点から札幌の交通を考える市民セミナー

日時:2008年9月28日(日)10:00～12:00

会場:北海道立道民活動センターかでの2・7 大会議室(4階)

主催:環境の視点から札幌の交通を考える市民セミナー実行委員会

自主自立まちづくりネットワークSOS(略称まちネット)

<http://www.machi-net.jp/info.php?itemid=18>

●第15回鉄道フェスティバル

日時:2008年10月11日(土)、12日(日)10:00～17:00

会場:東京・日比谷公園大噴水広場および周辺エリア

主催:「鉄道の日」実行委員会

http://www.shintetsu.co.jp/ryutsu/tr_fes/index.html

●第9回全国路面電車サミット2008福井大会「ひと・まち・環境をつなぐLRT」

日時:2008年10月17日(金)～19日(日)

会場:AOSSA、織協ビル

主催:全国路面電車愛好支援団体協議会

<http://www1.ocn.ne.jp/~rodensum/index.html>

●鉄道活性化講演会

日時:2008年10月22日(水)13:40～15:50

会場:ふるさと会館いが 小ホール

主催:関西本線複線電化促進連盟、三重県鉄道網整備促進期成同盟会

<http://www.pref.mie.jp/TOPICS/2008090321.htm>

5. その他

●EST 推進地域登録制度への申請を受付中！

EST 普及推進委員会では、「環境改善目標を伴った交通環境対策を推進すること」を誓う自治体を登録する制度を実施しています。登録された自治体は、国による支援の候補となる可能性があります。これまで8自治体が登録済みであり、このうち3自治体の取組について国の支援が実施されます。

→ 詳細はこちら <http://www.estfukyu.jp/estsuishinchiiki.html>

発行：環境的に持続可能な交通（EST）普及推進委員会事務局
（交通エコロジー・モビリティ財団）

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

http://www.estfukyu.jp/mailmagazine_cancel_form.html

EST ポータルサイト：<http://www.estfukyu.jp/>